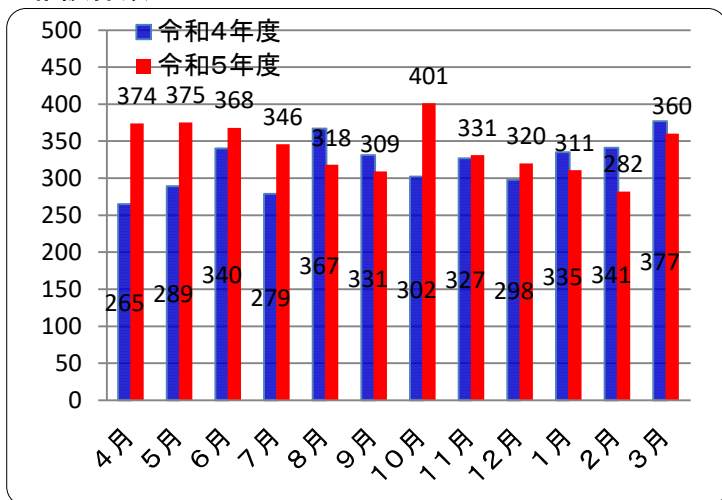


消費生活相談の概要

新潟市消費生活センター
令和5年度

相談件数



	令和4年度 (件数)	令和5年度 (件数)	対前年比 (%)
4～6月	894	1,117	124.9
7～9月	977	973	99.6
上半期計	1,871	2,090	111.7
10～12月	927	1,052	113.5
1～3月	1,053	953	90.5
下半期計	1,980	2,005	101.3
合計	3,851	4,095	106.3

令和5年度(4～3月)商品・役務別相談件数(相談合計 4,095 件)				
順位	商品・役務別	件数 (件)	割合 (%)	主な商品
1位	商品一般	454	11.1	覚えのない請求、不審な電話・メール(SMS)
2位	金融・保険サービス	357	8.7	消費者金融、投資商品、カードローン
3位	他の役務	350	8.5	火災保険申請代行サービス、冠婚葬祭互助会
4位	保健衛生品	306	7.5	化粧品(ファンデーション・美容液・クリーム)、置き薬
5位	教養・娯楽サービス	293	7.2	有料サイト、ウイルス対策ソフト、ネットゲーム
令和5年度(4～3月) 商品・役務別相談件数(上記のうち契約者65歳以上/合計 1,329件)				
順位	商品・役務別	件数 (件)	割合 (%)	主な商品
1位	商品一般	166	12.5	覚えのない請求、不審な電話・メール(SMS)
2位	他の役務	150	11.3	火災保険申請代行サービス、アナログ戻し
3位	食料品	119	9.0	健康食品、サプリメント、飲料
	保健衛生品	119	9.0	シミしわ取りクリーム、歯磨き粉、育毛剤
5位	金融・保険サービス	94	7.1	消費者金融、暗号資産投資

- 令和5年度の相談件数は4,095件で、前年度比で244件(6.3%)増加しました。美容液や除毛クリームに関する相談は減少しましたが、消費者金融、投資商品や副業、有名人の名をかたる詐欺的なSNSの広告等に関する相談が増加しました。
- 相談内容では、お試し価格で商品を購入したつもりが、定期購入になっていた相談が多く寄せられています。また、宅配業者を装った不審なメールや身に覚えのない請求に関する相談も後を絶ちません。不審なメールや覚えのない請求が届いても慌てずに、よく確認しましょう。
- 65歳以上の方の相談内容では、全世代と同様に、不審なメールや身に覚えのない請求、火災保険申請代行サービスの相談が多く、次いで、健康食品・サプリメントなどの食料品に関する相談、シミ・しわクリーム、育毛剤などの保健衛生品に関する相談と続きます。通信販売はクーリングオフが適用されませんので、慎重に契約しましょう。

新潟市消費生活センター (相談専用) 025(228)8100